

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ  
HONBETSU

2016  
June  
No.1052

6月



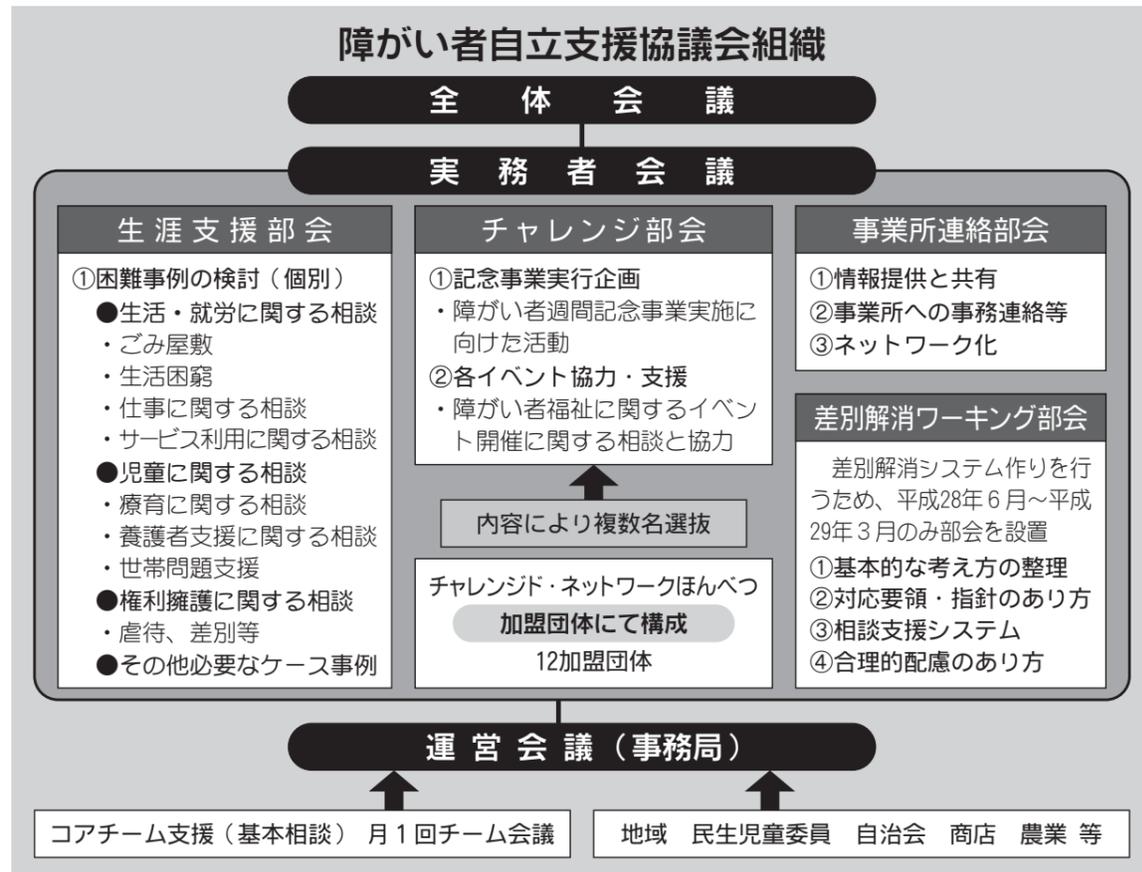
表紙

過去最高の10,500人が来場！  
本別山溪つつじ祭り

- ✿ 本別町障がい者自立支援協議会を再編
- ✿ 個性あるふるさとづくり寄付金運用状況
- ✿ 第58回 本別山溪つつじ祭り

## 基本理念

「障がいのある人たちが、障がいの種別を超えて、様々な障がい者施策への意見反映を行っていくとともに、地域で主体的に活動できる体制づくりと人材の育成を図りながら、相互に理解し合い、連携することで社会参加促進をめざし、本別町全体の福祉の増進を図っていくことを目的とする」



## 本別町障がい者自立支援協議会を再編



チャレンジド・ネットワークほんべつと、本別町障がい者自立支援協議会を再編し、障がい者の多様な生活課題へ対応していく新たな組織として「本別町障がい者自立支援協議会」が設立され、第1回全体会議が4月25日、総合ケアセンターで開かれました。

## 本別町障がい者自立支援協議会委員

- 委員**
- 一条正彦さん(町国保病院)
  - 黒柳弘美さん(帯広保健所本別支所)
  - 中野博文さん(町教育委員会)
  - 桑田達一さん(本別町社会福祉協議会)
  - 岡崎勉さん(本別町商工会)
  - 井出壬午さん(本別町民生児童委員協議会)
  - 五十井教行さん(本別警察署生活安全課)
  - オプザーパー
  - 目黒聖子さん(十勝障がい者総合相談支援センター)
  - 丸瀬恵さん(同)

協議会では、本別の10年後、20年後がどうなるのかをしっかりと見極めながら、人材育成を含めて検討していく必要があると考えています。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



会長  
新津和也さん



副会長  
土本直美さん

障がい者自立支援協議会の委員は、町内の障がい者支援団体だけでなく、障がい福祉サービス事業者や医療・教育・雇用分野などから選出いただき委嘱しています。委員の任期は3年間です。

## 障がい者団体、支援団体の連携深め、生涯支援の輪を広げる

この再編は、町が設置している本別町障がい者自立支援協議会(平成19年設立)と、町内の障がい者団体が加盟するチャレンジド・ネットワークほんべつ(平成15年発足、本町福祉施策の柱である健康長寿のまちづくり会議(平成16年設立)など、福祉関係の各種会議・組織が複数存在することから、それぞれの設置目的を整理し、これまでの趣旨や取り組みを継承しながら、本別で暮らす誰もがいきいきと地域で生活できる社会の実現を図るため、平成27年度中に検討が進められてきたものです。

第1回全体会議では、再編し新たに設立された「本別町障がい者自立支援協議会」の委員9人に、高橋正夫町長から委嘱状が手渡され、協議会の会長には、同ネットワークほんべつ代表の新津和也さんを、副会長には、障がいのある当事者および家族の会「そらの会」会長の土本直美さんを選出。新津会長は、「障がいのある当事者やその親の思いをしっかりと受け止め、支援していただく人とともに、よりよい協議会にしていきたいです」とあいさつし、同協議会の基本理念や体制、機能と役割等を出席委員と関係者計23人で確認しました。

### 協議会の組織と重点事業

同協議会は、全体会議のもとに実務者会議として、生涯支援部会、チャレンジ部会、事業所連絡部会の3部会が設置されており、今年度の重点課題は、障がい者差別解消法における各体制の構築や、障がい者福祉計画作成体制の検討、障がいのある人の働く場確保を目的とした農福連携事業の進捗報告、障がい者週間記念事業の実施の4事業です。今後、年間を通して、障がいのある人の生活を支えるための相談支援事業等、多種多様な地域課題の解決に向けて、取り組みが展開されていきます。

# 皆様からのご厚意 大切に使用させていただきます

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例  
平成27年度（平成27年4月～平成28年3月）  
の運用状況をお知らせします

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例は、個性や魅力にあふれ、全国に発信できる「ふるさとづくり」を進めるための事業等に活用するべく平成18年度に創設され、制度運用から今年で10年が経過しました。

この間、趣旨や目的をご理解いただき、絶大なご支援を賜りました個人・団体の皆様に対し心からお礼を申し上げます。

平成27年度に寄付を頂いた口数は1064口、総額532万円、これまでの累計は、口数は9471口、総額4736万円となっております。

平成27年度の運用実績といたしましては、『資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業』として、山梨県甲府市在住の神田甲陽氏を講師に招き、「ヒロシマ・ナガサキ・アンド・ピース」と題し、原爆の悲惨さを訴える「戦後70年平和のつどい講演会」の開催に15万円、「資料館特別展示」のための広島からの原爆資料運搬料として60万円、『本のまち・夢プラン事業』として、東京都在住の絵本作家とよたかずひこ氏を招いての「本のまち夢づくり講演会

と、幼児・小学生対象の出前講座を開催し35万円、図書館の書架購入に15万円、合計125万円の寄付金を活用させていただきました。

平成28年度につきましては、『農産物加工体験施設整備事業』として、「農産加工室と乳製品加工室の備品購入費として190万円、『本のまち・夢プラン事業』として、「ふるさと・本のまち」をテーマに「本のまち夢づくり講演会」と中学・高校生対象の出前授業開催の事業費として35万円、合計225万円の寄付金を活用させていただきます。

これからも、より良いまちづくりのために寄付金を有効に活用させていただきたいと考えておりますので「個性あるふるさとづくり」に多大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄付項目	寄付口数	寄付金額(円)	項目比率(%)
福祉でまちづくり推進事業	176	880,000	16.5
農産物加工体験施設整備事業	185	925,000	17.4
自然との共存・環境保全推進事業	173	865,000	16.3
資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業	19	95,000	1.8
本のまち・夢プラン事業	59	295,000	5.5
町長が必要と認める事業	452	2,260,000	42.5
合計	1,064	5,320,000	100.0

寄付項目	寄付口数	寄付金額(円)	項目比率(%)
福祉でまちづくり推進事業	2,887	14,440,000	30.5
農産物加工体験施設整備事業	1,941	9,705,000	20.5
自然との共存・環境保全推進事業	1,743	8,715,000	18.4
資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業	763	3,815,000	8.0
本のまち・夢プラン事業	1,171	5,855,000	12.4
町長が必要と認める事業	966	4,830,000	10.2
合計	9,471	47,360,000	100.0

寄付者の お住まい	寄付者数(件)		地域別 比率(%)
	うち団体		
本別町内	5	0	1.3
道内他市町村	33	0	8.5
道外他市町村	349	1	90.2
合計	387	1	100.0

寄付者の お住まい	寄付者数(件)		地域別 比率(%)
	うち団体		
本別町内	99	16	10.9
道内他市町村	83	2	9.1
道外他市町村	729	9	80.0
合計	911	27	100.0



とよたかずひこ氏と  
絵本づくりに参加した児童



資料館特別展示にて  
広島原爆資料を紹介



「戦後70年平和のつどい」で  
講演する神田甲陽氏

## 国民年金

年金を増やす  
お得なお知らせ

その170

20歳から60歳まで国民年金のみの加入で、全期間の保険料を納めた人がもらえる年金額は、年間78万1000円です（平成28年度の年額）。  
老後の暮らしをより豊かにするために、将来もらえる年金額を上乗せする方法をご紹介します。

### 付加年金制度

国民年金保険料（平成28年度は月額1万6260円）に加えて付加保険料（月額400円）を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされます。  
上乗せされる年額は、200円×納付した付加保険料月数となります。

（例）20歳から60歳まで40年間（480月）、付加保険料を納付した場合、  
200円×480月＝年額9万6000円が年金額に上乗せされます。



### 国民年金基金

ご自身のライフプランに合わせて、加入後も掛金を増減することができます。  
（例）男性が終身年金A型で20歳から60歳まで（40年間）加入した場合  
掛け金 月7020円  
年金上乗せ額 年間24万円

### ご注意

- ・いづれも、国民年金に加入している20歳から60歳未満の人、または国民年金に任意加入している60歳から65歳未満の人が加入できる制度です。
- ・国民年金基金に加入した人は、付加保険料を納めることはできません。
- ・国民年金基金への加入は任意ですが、加入後に自分の都合で脱退はできません。

### ★加入および問い合わせ

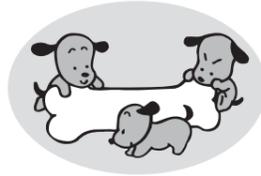
- ・付加年金制度  
住民課戸籍年金担当  
☎ 2218128
- ・国民年金基金  
北海道国民年金基金  
☎ 012016514192

詳しくは  
住民課戸籍年金担当へ  
☎ 2218128  
日本年金機構のホームページは  
<http://www.nenkin.go.jp/>

平成  
28年度

# 狂犬病予防注射と

# 犬の登録日程表



6月26日(日)		6月24日(金)		月日																
午後1時55分～午後2時30分	午後1時35分～午後1時50分	午後1時10分～午後1時30分	午前11時40分～午前11時55分	午前11時25分～午前11時35分	午前10時55分～午前11時15分	午前10時25分～午前10時40分	午前10時00分～午前10時20分	午前9時40分～午前9時55分	午後2時20分～午後2時30分	午後2時05分～午後2時15分	午後1時40分～午後1時55分	午後1時20分～午後1時30分	午前11時30分～午前11時40分	午前11時10分～午前11時25分	午前10時50分～午前11時05分	午前10時30分～午前10時45分	午前10時10分～午前10時25分	午前9時55分～午前10時05分	午前9時40分～午前9時50分	月日
本別町役場前	清流公園	北地区交流センター	本別町ふれあい多目的アリーナ	錦町児童公園	役場仙美出張所	光仙寺様	新町公園	青田勝彦様宅	森勢久保様宅	月見台会館	明美会館	小泉智行様宅	登坂利子様宅	美里別高東会館	西仙美里集会所	農業大学校様前	高一郎様宅	府川厳様宅	美里別東下1会館	住所
北2丁目	清流町	北8丁目	山手町	錦町	仙美元町	栄町	新町	弥生町	新生	月見台	明美	清里	美里別東下2	美里別高東	西仙美里	仙美里ヶ丘	追名牛	追名牛	美里別東下1	住所

6月21日(火)		6月19日(日)		月日															
午後2時40分～午後2時50分	午後2時15分～午後2時30分	午後1時50分～午後2時05分	午後1時30分～午後1時40分	午後1時10分～午後1時20分	午前11時20分～午前11時30分	午前10時45分～午前11時00分	午前10時25分～午前10時35分	午前10時05分～午前10時15分	午前9時30分～午前9時50分	午後1時50分～午後2時20分	午後1時30分～午後1時45分	午後1時10分～午後1時25分	午前11時35分～午前11時55分	午前11時15分～午前11時30分	午前10時55分～午前11時10分	午前10時35分～午前10時50分	午前10時10分～午前10時30分	午前9時35分～午前10時00分	月日
丑若浩行様宅	勇足西1会館	負籬2会館	負籬1会館	チエトイ1会館	斉等様宅入口	仙美里2会館	星崎政博様宅	奥仙美里会館	上本別生活館	本別町役場前	東町中前建設様社宅	ふれあい交流館	みどり公園	本別森林事務所様	鉦路トヨタ自動車本別営業所様	共栄会館	前田自動車工業様	勇足コミセン前	住所
勇足東3	勇足西1	負籬2	負籬1	チエトイ1	東本別	仙美里2	上仙美里	奥仙美里	上本別	北2丁目	東町	向陽町	緑町	南3丁目	南4丁目	共栄	共栄1	勇足元町	住所

- ◎ 狂犬病予防注射は、毎年1回受けなければなりません
- ◎ 生後91日以上犬は、登録・狂犬病予防注射を受けなければなりません
- ◎ 犬の登録は、犬の生涯に1回です
- ◎ 犬の死亡、所有者および所有者住所の変更などがあった場合は、住民課環境生活担当に届け出をしてください
- ◎ 注射手数料は**3,110円**です  
新規で登録する場合は、登録手数料が別途**3,000円**かかります
- ◎ ご不明な点は、住民課環境生活担当(☎22-8128)または、十勝農業共済組合本別家畜診療所(☎22-2075)にお問い合わせください
- ※ 指定場所は特にありませんので、都合のよい時間・場所で必ず受けてください
- ※ 犬の体調が悪い場合には、事前に申し出てください
- ※ 他市町村や動物病院などで予防注射を実施した場合は、予防注射実施済票を交付しますので、予防注射実施済証を持参の上、必ず住民課環境生活担当までお越しください(交付手数料**550円**かかります)

6月23日(木)		6月22日(水)		月日																		
午後2時05分～午後2時20分	午後1時40分～午後1時50分	午後1時20分～午後1時30分	午前11時30分～午前11時40分	午前11時10分～午前11時25分	午前10時45分～午前11時00分	午前10時20分～午前10時35分	午前10時05分～午前10時15分	午前9時40分～午前10時00分	午後2時55分～午後3時05分	午後2時25分～午後2時45分	午後2時00分～午後2時15分	午後1時40分～午後1時55分	午後1時20分～午後1時35分	午前11時30分～午前11時40分	午前11時15分～午前11時25分	午前10時55分～午前11時05分	午前10時35分～午前10時45分	午前10時15分～午前10時25分	午前9時55分～午前10時10分	午前9時40分～午前9時50分	月日	
美里別東上会館	渋谷茂様宅	活込神社	上拓農会館	旧拓農公民館跡	美里別東中会館	美里別郵便局様隣	ラウンベ入口バス停	美里別中地区集会場	上方康浩様宅	上押帯	上押帯	押帯地区農作業準備休憩施設	押帯地区集会場	遠國公司様宅	旧押帯1会館	勇足西4会館	勇足西2会館	美帯地区農作業準備休憩施設	勇足西5会館	勇足東5会館	勇足東4会館	住所
美里別東上	活込	活込	上拓農	拓農	美里別東中	美里別西上	美里別西上	美里別西中	美蘭別	上押帯	押帯	押帯	押帯	勇足西4	勇足西2	美蘭別	勇足西5	勇足東5	勇足東4	勇足東1	住所	

**本別町・本別町獣医師会・十勝農業共済組合北部事業所本別家畜診療所**

動物戦隊  
ジュウオウジャーショー



9月4日(日)  
① 11:00～  
② 14:00～  
※ショー終了後、撮影会・サイン会有り(有料)



©2016 テレビ朝日・東映AG・東映

9月3日(土) 19:30 打ち上げ  
東十勝花火大会



第20回  
本別きらめき  
タウンフェスティバル  
2016

9月3日(土)・9月4日(日)

利別川河川敷地特設会場



市川由紀乃

STVラジオ公開録音歌謡ショー 9月4日(日) 18:30開演



May J.

平成9年から始まり、本別町の大イベントとして成長した「本別きらめきタウンフェスティバル」が今年、第20回を迎えます。今年には20回を記念し、いつもとちがう「きらめき」を皆さんにお届けするため、多彩なイベントを企画しています。皆さん、どうぞお楽しみに！

主催：本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会  
問い合わせ：役場企画振興課商工観光・元気まち担当 ☎ 22-2141

白糠町  
からの  
お知らせ

# 第20回 港in白糠大漁まつり

**とき** 6月26日(日) 午前9時30分～午後3時

**ところ** 白糠漁港特設会場

**主なイベント(予定)**

海鮮炉端、露店、遊覧航海、遊漁体験(釣船体験)、郷土芸能(白糠駒踊りほか)、ビンゴゲーム、小学校・高校の金管・吹奏楽部の演奏、白糠吹奏楽団による演奏、ふわふわランド、保育園児による和太鼓披露、大漁祈願餅まき



ステージショー

北島音楽事務所所属 長瀬剛のものまねで  
大江 裕 さん 歌謡ショー おなじみ 英二 さん

道東道を利用して、  
ぜひ白糠町まで遊びに来てください!!

**問い合わせ** 港in白糠大漁まつり実行委員会  
(白糠漁協内)  
☎ 01547-2-2221

白糠町  
の特産品  
を紹介

## 鍛高譚 R



白糠産のシソを使った焼酎「鍛高譚」シリーズの新商品「鍛高譚R」が北海道エリアで先行発売されました。「鍛高譚R」は、鍛高譚用に無農薬栽培された白糠産赤シソを5倍以上使用していることから、赤シソの豊かな香りと鮮やかなルビー色が特長のドライな味わいのお酒です。甘くないドライな味わいは食中酒に最適で、ロックや水割り、炭酸割りやジュース割りなど、さまざまな飲み方で楽しめます。※「R」とは ①Rare(レア) ②Rich(リッチ) ③Ruby(ルビー)の3つの「R」を表しています。

## 白糠酪恵舎のチーズ



チーズの本場イタリアで製法を学んだ職人が、牧場から直送したしほりたての生乳をイタリアの伝統的な製法にこだわり抜いて生産するイタリアンチーズ工房の白糠酪恵舎。モッツアレラやリコッタなどのフレッシュタイプから熟成をかけたセミハードやハードタイプのほか、チーズフォンデュ用のチーズまで、さまざまなチーズが楽しめます。また、ホエーの入ったチーズソフトは、遠方からもファンが訪れる絶品スイーツで、ドライブのお供に最適です。※白糠酪恵舎(☎01547-2-5818)は国道392号沿いに位置し、白糠ICから車で約10分です。

道の駅しらぬか恋問の物産センター「恋問館」(☎01547-5-3317)では、どちらの商品も販売しております。

# 本別高校の支援の輪を広げる 町民の集いを開催します

～多くの皆さんの参加をお待ちしております～

本別町・本別町教育委員会・本別高校の教育を考える会では、伝統ある本別高校を町全体で支援していくことを目的に、次の通り「本別高校の支援の輪を広げる町民の集い」を開催します。

本別高校の生徒や先生が頑張る姿、学校活動、授業、進路の状況などを紹介しますので、多くの皆さんの参加をお願いします。



**とき** 6月3日(金) 午後7時～午後8時10分

**ところ** 本別町体育館2階中競技室

- 内容**
- 本別高校の現状について  
～新たな高校教育に関する指針による本別高校が置かれている現状～
  - 本別高校の取り組みについて ～学校行事、学習活動、進路の状況～
  - 本別高校在校生および卒業生からの報告  
～本別高校に入学して、本別高校を卒業して～
  - 本高生の合唱(全体合唱)

**問い合わせ** 本別町教育委員会管理課 ☎ 22-2331

# 第58回本別山溪つつじ祭り

第58回本別山溪つつじ祭り（実行委員会主催、野田仁実行委員長）が5月8日、本別公園で開催されました。春先からの好天で、公園内のツツジやサクラは見ごろを迎え、町内外から過去最多となる1万500人も家族連れやグループなどの来場がありました。

会場内では、本別の食材をふんだんに使ったつつじ祭り名物「ジャンボ義経鍋」の豚汁が、1500食完売となったほか、出店業者による「食のコーナー」や子供たちに大人気の「ふわふわランド」も長蛇の列をつくりました。ステージ上では、人気お笑い芸人の「とにかく明るい安村」さんのライブステージや、郷土芸能、ゲーム大会など多彩な催しが展開され、来場者は「食べて」「遊んで」「笑って」春の楽しいひとときを過ごしました。



ジャンボ義経鍋は長蛇の列となりました



郷土芸能本別義経太鼓

満開のエゾムラサキツツジ

開会式であいさつする野田仁実行委員長

溪流魚放流“釣れた！”

うなぎつかみ大会

青空レディ紹介&写真撮影会

“鍋おいしいよ！”

義経鍋、今年は1500食！

OCTVキャンペーン

“野点”見事なお点前です

子どもに大人気！ふわふわランド

ビンゴ大会 当たるかな？

1万500人のひと・ひと・ひと

“安心して下さい！”とにかく明るい安村ライブステージ

来場者の安全確保のため、一部の時間帯で入場制限をさせていただきました

## 新町長寿クラブ 心肺蘇生法を学ぶ

4/25

新町長寿クラブ（木村功会長）のサロン活動「救命救急講座」が4月25日、新町集会所で開かれました。同クラブは月に2回程度、ゲームや健康講座などを行っており、この日は本別消防署員2人を講師に、会員25人がとかち広域消防局移行に伴う119番通報体制などについてのお話に耳を傾けた後、AEDを使った心肺蘇生法や三角巾の使い方などを学びました。



## 現場災害ゼロへ決意

4/26

平成28年度労働・交通安全大会（本別町建設工事安全連絡協議会主催）が、4月26日、町体育館で行われました。同大会は、労働災害・交通災害の撲滅を目的に、建設工事が本格化するこの時期に毎年開催されており、今年も町内の33社から、120人の社員・作業員等が出席。主催者を代表し、同協議会の野田仁会長が、「安全確保はもちろん、交通災害ゼロに向けて認識を新たにしていきましょう」とあいさつし、引き続き、帯広労働基準監督署の高倉法夫署長と本別警察署の久米井強地域交通課長が講話を行いました。最後は、本別建友会の三木哲会長が労働・交通安全決議文を宣誓し、出席者全員で、現場災害ゼロへの決意を胸に刻みましました。



## 春の訪れ、 野外施設などオープン

本別町内の公園や野外体育施設などが4月から順次オープンし、春の訪れを感じながら大勢の利用者でにぎわっています。このうち、本別公園は4月16日から遊具施設が利用できるようになり、多くの観光客や家族連れがボートなどを楽しみ、河川運動公園多目的広場では4月23日、本別中学校サッカー部が新緑の芝生の上で久々に屋外練習に励みました。町民水泳プールは水槽改修工事を終えて5月7日リニューアルオープンし、本別水泳少年団などの利用者が水の感触を確かめています。



本別公園



河川運動公園多目的広場



町民水泳プール

### 学校教育目標

- ◇よく考える子
- ◇思いやりのある子
- ◇ねばり強い子
- ◇明るく元気な子

### 教育目標実践化

- あ あいさつ
- い 一生懸命
- う 美しい歯
- え 笑顔
- お 思いやり

各学校の手作りページ

# HELLO 勇足小学校

4月8日、かわいい1年生8人を迎え、今年度の勇足小学校（吉藤清孝校長・全校児童53人）の教育活動がスタートしました。本校は、地域の豊かな自然や地域住民とのふれあいを生かした「特色ある教育活動」を展開しています。また、今年度からは文部科学省の指定を受け、勇足地区におけるコミュニティ・スクールの導入に向けた調査・準備を進めてまいります。



4/14 中学生と一緒に新体力テストに挑む児童



4/8 緊張でいっぱい入学式



4/20 交通安全教室で、大型トラックの内輪差の危険性を実感する児童



4/11 登校時、町交通安全指導委員と触れ合う児童



4/20 学習参観日において、理科の実験に取り組む児童



4/13 初めての給食をおいしく食べる1年生

## 消防団活動への協力を確認 **5 2**

本別町農業協同組合（田中敏行代表理事組合長）への消防団協力事業所認定表示証交付式が5月2日、同協同組合事務所で行われました。この交付は、平成24年4月に池北三町行政事務組合から認定されて以来、2年ごとに更新されていましたが、本年4月から消防業務がとちぎ広域消防局に移行されたことに伴い、消防団業務は本別町の事業に継承されており、町からの認定書交付は今回が初めてです。同協同組合には、4人の消防団員が在職しており、式では、高橋正夫町長が同協同組合の井出英彦常務理事に新しい表示証を手渡し、今後も緊急時や訓練活動時における協力体制を確認しました。



## 雪のなかでナイスショット! **4 29**

第10回本別町太陽の丘杯パークゴルフ大会（町および町教育委員会主催）が4月29日、太陽の丘パークゴルフ場で開催され、町内外からパークゴルフ愛好家90人が出場しました。この日は、あいにく前日からの降雪によりコース全面が雪に覆われましたが、本別パークゴルフ協会会員が早朝から除雪作業を行い、2コースを確保。時折雪が交じる雨天のなか、男女別個人戦による18ホールストロークプレーで競技が行われ、参加者らは優勝目指して力強いショットを繰り出しました。



## 多くのボランティアでまちがきれいに

本別建友会（三木哲会長）の会員30人が4月23日、本別公園の木製遊具やつり橋などの塗装を、5月13日には商工会女性部（新津直子部長）の部員6人が同公園内にエゾムラサキツツジ30株を植え、景観整備に汗を流しました。5月6日には野田組（野田仁社長）・山中（畝地昭夫社長）の社員43人が合同で町内公共施設周辺や河川敷地等を、5月7日には、町内4郵便局・上浦幌郵便局（代表＝田中浩本別郵便局長）の職員15人と、帯広信用金庫本別支店（梶谷徹也支店長）の職員6人が町内2か所の雪捨て場でそれぞれごみ拾いを実施。5月12日には本別町議会議員会（会長＝林武副議長）の12人が美里別高東地区の道道と追名牛地区の町道でごみ拾いを行い、多くのボランティアにより町が大変きれいになりました。



帯広信用金庫本別支店



建友会

## 交通ルールを守って **5 10**

仙美里小学校（高瀬悟史校長）全校児童30人が5月10日、本別警察署および交通安全指導員などの協力のもと、本別市街地や同校の校庭で歩行訓練と自転車乗車訓練を行いました。道の駅「ステラ★ほんべつ」前で、担当教諭から横断歩道の渡り方などの指導を受けた児童たちは、国道の交差点を実際に渡り、危険な事例などを確認しながら、J A本別までの歩道を歩きました。佐川夏希さん（2年生）は、「学校のみならず市街地の交差点を渡るのは初めてだったけれど、上手にできました」と話しました。



## 親子で楽しくマスコット作り **4 30**

子どもの読書週間に合わせた「としょかんこどもまつり」が4月30日、図書館で行われました。午前の部では、図書館ボランティアぶっくる（綾野治男会長）会員8人による大型紙芝居や指人形の公演と、本別混声合唱団（大沼順子団長）の9人による子供向けの歌の披露が行われ、33人の親子らが絵本と歌声を鑑賞。午後の部では、同ぶっくる会員6人の指導のもと、白ネコのキャラクター「ノンタン」のフェルトマスコット作りが行われ、13人の親子が裁縫に挑戦しました。完成後には、参加者全員で記念撮影を行い、かわいらしいお人形の出来に、子供たちも大満足の表情を浮かべていました。



町議会議員会



野田組・山中



商工会女性部



町内郵便局・上浦幌郵便局

## 南三陸町議会が表敬訪問 5 18

南三陸町議会産業建設常任委員会（山内昇一委員長）の委員5人と事務局職員が5月18日、東日本大震災後の支援に対する表敬訪問のため本別町役場を訪れ、高橋正夫町長や方川一郎町議会議長などと意見交換しました。意見交換では、山内委員長から、震災後5年が経過したが、南三陸町では今でも復興のための工事が進められており、人口も3割ほど減少したとの報告がありました。また、本別町と交流を図っているジュニアリーダー経験者が仮設住宅の自治会長として活躍し、周辺自治会にも影響を与えたとの明るい話題も飛び出すなど、同委員会の皆さんは、継続した本別町の支援に対して敬意を表すとともに、今後も両町の交流が続くよう話されました。



## 骨盤体操でリラックス 5 16

家庭教育支援事業「なかよし」による骨盤ケア講座が5月16日、助産師・カイロプラクターの三浦智奈美さんを講師に迎え、健康管理センターで開かれました。三浦さんは、参加した10人のママたちへ、産後の骨盤の変化をお話したあと、体のバランスとゆがみのチェック方法を伝授。腰痛や肩こりを解消するためにも、「上半身、下半身の筋肉を左右対称に伸ばしたり整えることが大切です」と述べ、全員で骨盤体操のほか、ハンドマッサージを行うなど、リラックスした時間を過ごしました。



## 自衛官募集相談員に委嘱 5 12

自衛官募集相談員の委嘱状授与式が5月12日、役場で開かれ、本別町自衛隊協力会の加藤晴康会長出席のもと、自衛隊帯広地方協力本部小橋史行本部長と高橋正夫本別町長から、佐藤秋雄さん（仙美里元町）と大道寺勝さん（向陽町）へ委嘱状が手渡されました。同相談員は2年任期で、佐藤さんは2期目、大道寺さんは3期目の委嘱。佐藤さんらは、「自衛官の任務を理解しPRしながら、入隊が増えるよう協力していきたい」と抱負を語りました。



## 自治連会長に北谷和雄さんが就任 5 11

町内76自治会で構成する本別町自治会連合会の平成28年度総会が5月11日、津村会館で開かれました。総会では初めに、事務局から平成27年度の事業・決算報告がされた後、平成28年度の事業計画・予算案を審議。委任状を含む47人により承認された後、役員改選が行われ、新会長に北谷和雄さん（南1丁目自治会長）が就任しました。北谷会長は、「新役員体制のもと、皆さんの協力を得ながら本別町発展のために頑張りたい」と決意を語りました。



## 戦略的な試合展開 5 19

第35回町長杯争奪高齢者ゲートボール大会（町主催）が5月19日、銀河アリーナで開催されました。大会には、町内の7チーム28人が出場。2ブロックに分かれたリーグ戦の後、決勝戦が行われ、選手らは、チーム一丸となって戦略的な試合を展開するとともに、優勝目指し、力強いショットを繰り出しました。



## チャレンジデーの参加を呼び掛け 5 17

5月25日に開催される住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2016」の街頭啓発が5月17日、町内で行われました。チャレンジデー実行委員会（大西光夫実行委員長）の委員10人が、のぼりを持ちながら市街地を練り歩き、長野県喬木村との対戦に勝利するため、道行く人々にイベントをPR。エコープほんべつ店や道の駅「ステラ★ほんべつ」、フクハラ本別店前で、日程や電話番号などが記入されたポケットティッシュを配りながら、当日の参加を呼び掛けました。



## 介護人材確保を目指す 5 13

8月1日～3日に町内で開催される「GO!GO!介護 オープンキャンパス inほんべつ（本別町介護サービス事業者連絡会主催）」の実行委員会（加藤徹己実行委員長）が5月13日、総合ケアセンターで開かれました。このイベントは、町内の福祉事業所や介護士が力を合わせ、本別の福祉現場とともに観光、食など地域の魅力も紹介しながら、介護人材の確保を図るため今年度初めて実施されるものです。実行委員会は、町内介護事業所の職員など19人で組織しており、イベントの周知方法や実施の内容等について検討が進められました。本イベントは、6月以降、道内の介護・福祉系専門学校のほか、本別高校の生徒など計15人を募集する予定です。



## 高齢者が交通安全を討論 5 12

本別町交通安全母の会（田西喜代会長）が主催する、高齢者を対象とした交通安全勉強会が5月12日、中央公民館大ホールで開催されました。今年で9回目となる勉強会では、約80人の参加者が10班に分かれてグループ討議を実施。各班からは、「ウインカーが遅いと危険だ」など運転に関するマナーや、町内での危険箇所に関する事など、さまざまな意見が発表されました。引き続き、交通安全に関する体験会が行われ、参加者らは酒酔いを疑似体験できるゴーグルを装着したり、点灯したスイッチを押して敏しょう性を測定したほか、タッチパネルを使った交通安全クイズなどに挑戦しました。



情報を広報電算担当へお寄せください  
 ☎22-8121

# 未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。  
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



南2丁目  
松井 瑠星 (梨沙ママ)



弥生町  
佐藤 穂依 (弘美ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

# みんなの健康

382

本別町の成人検診の統計を見ると喫煙率は全受診者の約2割、そのうち男性の喫煙率は女性の約3倍となっています。歯周ポケット4mm以上の

## タバコと歯周病

歯周病への罹患率も40歳代50歳代ともに男性がやはり高い値を示しています。

歯周病の原因には歯周病菌や外傷性咬合など複数の因子がありますが、1日の喫煙本数が多い人ほど歯周病に罹患している割合が高いという結果を見ると、喫煙も歯周病を増悪させる大きなリスクファクターの一つと言えます。



榎原歯科医院 院長 榎原 秀樹

歯周病は心臓血管障害、害、糖尿病、肺炎、早産などとの関連が分かっています。全身疾患を防ぐ上でも重要です。禁煙をするのが最大の予防策なのはもちろんです。やめられない人は本数を減らし、更にビタミンC不足にならないよう気をつけましょう。

## カラマツ1000本を植樹

5 19

本別町町民植樹祭が5月19日、美里別西上地区の町有地で行われました。この植樹祭は、平成25年以来休止していましたが、カラマツの苗木が確保されたことから3年ぶりの開催となりました。この日は、町内の関係団体や一般参加者のほか、本別中央小学校(山川修校長)の6年生37人など合わせて90人が、春の青空の下、心地よい汗を流しながら、二人一組になって、約0.5haの土地におよそ1000本のカラマツを植樹しました。



参加者全員で記念撮影



作業に苦戦しながらも「成長が楽しみ」

### ニトリ北海道応援基金を活用して苗木を購入

町では、ニトリ北海道応援基金の助成を受けて、4月から5月にかけて町民植樹祭を含めた町有林造林事業を実施。美里別西上地区と美蘭別地区の町有地5.66haに、カラマツの苗11,320本を植栽しました。

情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

## ご寄付ありがとうございます

平成28年4月16日から5月15日

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

次の通りご寄付をいただきました。  
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町町有林振興基金	金50,000円	匿名	計金250,000円	匿名21人
			各金10,000円	北広島市 川合栄美子
				兵庫県 寺脇康雄
				大阪府 森一憲

### 銀河ホップ・ステップ・ダンス

— 足寄町・陸別町から —

#### 足寄町

第19回ラワンびぎ狩り

北海道遺産  
産で足寄町  
特産品のラ  
ワンびぎを  
自分の手で  
刈り取りし  
てみせんか。

□ とき 6月26日(日)  
午前8時30分—正午

□ ところ 鳥羽農場(鷺府)

※JAあしよろ直売所「寄つて美菜」前に案内所を設置しています

□ 持ち物 鎌または包丁等

□ 詳細 JAあしよろ生産振興部農産課 ☎2515178

#### 陸別町

第8回  
陸別スターライト  
フェスティバル

銀河の森天文台で講演会とミニコンサートを開催します。星空観望と合わせてお楽しみください。

□ とき 7月9日(土)  
午後8時30分—

□ 内容 講演会「世界の金星探査と日本の挑戦」  
講師 金星探査機「あかつき」プロジェクトマネージャー JAXA教授 中村正人氏

□ 入館料 大人3000円 小人2000円  
〈夜〉大人5000円 小人3000円  
(18時以降の入館)  
※小学生未満 無料

□ 詳細 銀河の森天文台 ☎2718100

ぐんぽんタイム

# 本のある暮らし 183

## 戸籍のまど

### お誕生

4月後半から  
5月前半の  
届出分

- 佐久間圭翼くん 薫さん 4/15 柏木町
- 川内優耶くん 智寿さん 4/27 勇足西4
- 今野愛美ちゃん 大吾さん 5/7 上押帯

### おくやみ

- 増田久子さん 78歳 4/17 南4丁目
- 小川千代さん 76歳 4/18 勇足西1
- 川岸弥一郎さん 104歳 4/21 美蘭別
- 佐藤正男さん 87歳 4/23 負籠1
- 今野正さん 86歳 4/24 南4丁目
- 井出達也さん 23歳 4/25 美里別西上
- 若林ミツさん 91歳 4/26 負籠2
- 山田幸枝さん 63歳 4/30 緑町
- 越村博志さん 81歳 5/2 仙美里元町
- 鎌田一平さん 87歳 5/13 南2丁目

## わたしたちのまち

前月比  
 人口 7,479人(+115)  
 男 3,680人(+81)  
 女 3,799人(+34)  
 世帯数 3,731戸(+91)  
 〔4月末日住民基本台帳〕

# 「図書館はどれくらい 利用されているの？」 図書館を数字で みてみよう!

平成27年度の図書館の統計から、主な結果をお知らせします。  
 図書館では利用状況を集計して、皆さんの「読みたい」「知りたい」「学びたい」に応えるための取り組みに活用しています。

**15,918人**【利用人数】 1日平均 51.3人  
 前年度より380人UP!  
 ぶっくるカフェなどのボランティア活動、学校のさまざまな授業による利用が定着してきました。

**45,956冊**【貸出冊数】 1日平均 148.2冊  
 前年度より228冊UP!  
 平成27年度から保育所・幼稚園・学童保育所・放課後子ども教室でも貸し出しを始め、子どもの読書環境の充実を図っています。



南保育所としょかんえほんばこ



としょかんこどもまつり

**831人**【図書館事業参加者数】  
 としょかんこどもまつり、本のまち夢づくり講演会、出前授業など、子どもからお年寄りまでが読書の楽しさに触れるきっかけ作りを進めています。

**1,325件**【予約・リクエスト件数】  
 読みたい本が図書館にない！そんな時はスタッフに気軽にお問い合わせください。図書館システムやインターネットで探し、予約、購入、他の図書館から借りるなどしてお応えします。

これからも多くの皆さんに親しまれる図書館を目指します

お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
 (愛称:ぶっくる一丸)  
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112